





## G7広島サミット レガシー・プロジェクト「若者たちのピース・キャラバン」参加者


## 【英仏コース】

氏名	オチ アユム 越智 歩	
所属	同志社大学	
学年	4年	
広島県とのつながり	-	
自己紹介、意気込み	私は、同志社大学社会学部教育文化学科において教育学や環境教育学を学んできました。特に、ゼミでは京都市の北部に位置する畑にて作業やディスカッションを行い、体験的に環境教育を学んでいます。この背景を活かし、イギリス・フランスでは主に環境問題について意見交換をします。両国は環境問題に対して先進的な取り組みを行っているため、その取り組みに対する若者の意識等を理解したいです。 本事業では、両国の若者と交流する中でG7広島サミットの成果を再確認します。それを踏まえ、環境問題を含む地球規模課題の解決に向けて若者が行えるアクションを模索し、短期・長期的な観点から具体的な議論を行いたいです。	

氏名	カミザト アンジュ 神里 晏朱	
所属	立教大学	
学年	4年	
広島県とのつながり	-	
自己紹介、意気込み	これまで大学では、低所得層の人々がより良い教育や多くの収入を得るための要因を模索し、課外では食品ロス問題の解決に向けた活動をしてきました。日本の食品廃棄物は世界の食料支援量の1.2倍に値し、G7諸国の食品ロスは世界全体の10%を占めているともいわれています。そのため、派遣国では他の参加者と共に課題への当事者意識を養い、実現可能性の高い解決策を検討したいです。また、食品ロス問題が地球温暖化にも関係しているように、各課題を単独で、そして一国のみでは解決できないことから、課題を多角的に議論することで、相乗効果が生み出せるような解決策が見出せるよう事業に臨みたいです。	

氏名	クロセ ハルネ 黒瀬 陽音	
所属	広島観智学園高等学校	
学年	2年	
広島県とのつながり	○	
自己紹介、意気込み	これまで音楽や科学の学習に力を入れてきました。小さい頃からピアノを続けてきたり、身近な自然界や日常生活でどのように科学や数学が使われているのかを研究してきました。将来は、海外の大学で物理と音楽を学び、科学技術と音楽の力を使って人々を笑顔にすることができよう人になりたいと思っています。今回の派遣では、地元である広島で開かれたG7広島サミットの開催や成果について他の国の若者はどのように考えているのか知り、世界が抱えている課題について意見交流がしたいです。また、平和都市である広島で学ぶ一人の生徒として、原爆がもたらした悲惨さや戦争の歴史、そして核兵器の存在意義とその限界について様々な視点から他の国の若者と語りたいたいです。	


氏名	ナカモト ヌイコ 中本 結子	
所属	慶應義塾大学	
学年	3年	
広島県とのつながり	○	
自己紹介、意気込み	ニューヨークでの中学生時代と、高校でのイギリス短期留学にて、自分で現地の学生向けに平和やヒロシマに関する講演会やワークショップを企画し実施してきました。大学では、ソフトパワーから日本に貢献したいという思いで、著作権など知的財産権の研究会と、ブロードウェイでのマイノリティ表象についてアメリカ社会についての研究会に属し研究しています。派遣国ではヨーロッパならではの平和観や、核兵器や武力紛争を超えた広義の“平和”の実現のために若者世代が取り組むべきことについて意見交換をしたいです。単に派遣されて終わりではなく、今後も広島や日本の学生が平和に向けて主体的に動くためのロールモデルとなれるよう、行動し続けたいです。	


氏名	ニワタ アンジュ 庭田 杏珠	
所属	東京大学	
学年	4年	
広島県とのつながり	○	
自己紹介、意気込み	「記憶の解凍」。高校時代から、主に被爆前の中島地区(現在の広島平和記念公園)の日常の白黒写真カラー化し、戦争体験者の「想い・記憶」を継承しています。AIや当時の資料、戦争体験者との対話をもとに、よみがえる「記憶の色」を手作業で再現します。G7首脳が祈りを捧げた平和公園。被爆前の日常を想像できたでしょうか。被爆後の惨状だけでなく、カラー化した被爆前の日常の写真を通して、当時の色彩溢れる幸せな日常がたった一発の原子爆弾で一瞬に失われたことを、時空を越え「自分ごと」として、人道的な視点から想像してもらいたい。「戦前」かもしれない今、「もう誰にも同じ思いをさせてはならない」と願う戦争体験者の想いを、国境を越え、共感とともに届けたいです。貴重な機会に感謝し、精一杯取り組みます。どうぞよろしくお願いします。	


※ 広島県とのつながりは、参加者本人が広島県内の学校に在学した経験があることまたは広島県に在住した経験があること  
※ 自己紹介、意気込みは参加者の原文を掲載


G7広島サミット レガシー・プロジェクト「若者たちのピース・キャラバン」参加者知事表敬 訪問者


【米加コース】

氏名	オウダ ヤヤノ 奥田 弥陽乃	
所属	広島大学	
学年	1年	
広島県とのつながり	○	
自己紹介、意気込み	国際政治に関心があり、政治という手段を用いて平和で協調性のある世界を構築したいと考えています。派遣先である米国とカナダでは主に核兵器問題について議論したいです。核兵器のない世の中にするために今必要なこと、核兵器のない世の中になった際に起こりうること等、現在だけではなく未来への視点も含め意見交換をしたいです。その他サミットにて扱われた問題について意見交換をし、地球規模の課題への自身の関心と問題意識を高めたいです。政治思想や文化の違いを理解しながらアジアを飛び出し、G7サミットで見られた、分断や対立ではなく協調を重視した姿勢で臨み、充実した意見交換の機会にできるよう積極的な議論の参加に努めます。	

氏名	オニキ ユウリ 鬼木 優里	
所属	京都大学	
学年	2年	
広島県とのつながり	○	
自己紹介、意気込み	中学・高校時代を広島で過ごし、訪日外国人の方に向けて英語で平和記念公園周辺の慰霊碑巡りの案内や、核兵器廃絶のための署名活動に携わっていました。高校2年時にはドイツのUWCIに入学し、二年間の国際バカロレアを修了しました。留学先では世界中の学生と生活を共にする中で、持続可能な発展と環境に関する知識を深めました。現在は京都大学経済学部在籍しています。環境経済学や国際経済学などを学んでおり、経済安全保障に興味があります。平和構築を担う「アクター」として、核兵器をはじめとした大きな課題に対して私にできることは何か、この派遣を通して模索していきたいと考えています。	

氏名	カンダ ミズズ 神田 実鈴	
所属	広島大学大学院	
学年	修士2年	
広島県とのつながり	○	
自己紹介、意気込み	私は広島生まれ広島育ちの大学院生です。高校2年次に広島県の「グローバル未来塾 in ひろしま」の一期生として活動して以来、地元広島を拠点に「平和」に対する関心を高めるきっかけづくりを目標とする学生団体を立ち上げ、活動を行ってきました。大学では、学生の約半数が留学生という環境で学び、大学院では、メキシコの路上で働く子どもたちに対する支援を行う民間団体が、子どもたちの教育に果たす役割について研究を行っています。本事業で出会う方々との「非公式」な場での本音の議論に期待します。消極的平和のみならず、積極的平和の実現に向けて自分たちに何ができるか、バックグラウンドを異にする仲間と議論を深めたいと考えています。	

氏名	シタダ ナオキ 四反田 直樹	
所属	京都大学	
学年	4年	
広島県とのつながり	-	
自己紹介、意気込み	こんにちは、現在大学5年生で全固体電池の卒業研究と、AIを使ったロボット制御の研究に取り組んでいます。今年の6月までは英国・プリストル大学に9ヶ月間の交換留学をしていて、自律配膳ロボットの勉強/研究に取り組ましました。仕事が好きで、去年はラテの上にカカオパウダーで絵を描くフードプリンターを作りました。AIブームで研究が進む自律ロボット技術の軍事転用とその防止策、また核軍縮プロセスの理論的な(例えばゲーム理論に基づいた)考察に特に興味があります。アメリカ・カナダの方が日本の戦争や核兵器への姿勢に抱く印象を知りつつ、積極的に意見交換できるように頑張ります。よろしくお願ひします。	

氏名	ヤマダ アンナ 山田 杏菜	
所属	京都大学	
学年	2年	
広島県とのつながり	-	
自己紹介、意気込み	経済学部2年生の山田杏菜です。これまでの学問と研究を通じて、持続可能な経済発展や社会的公正についての理解を深めてきました。日常において女性という立場を意識させられることがよくあるので、一女学生として現地の学生とジェンダー問題について議論したいです。そして何より、日米両方の滞在経験があるからこそ、覇権国の異なる立場や歴史的背景を理解しながら、核軍縮と国際平和に向けた協力の重要性について主張したいです。他の派遣者の皆様や現地の学生と力を合わせながらこのプロジェクトを実りあるものにするべく、私も全力で任務を遂行することをお約束します。	

※ 広島県とのつながりは、参加者本人が広島県内の学校に在学した経験があることまたは広島県に在住した経験があること  
 ※ 自己紹介、意気込みは参加者の原文を掲載

# 英仏コース 概要

	日程	予定
1	10/29(日)	(※)広島出発組のみ 広島空港発→羽田空港 (東京泊)
2	10/30(月)	羽田空港→ロンドン着 (ロンドン泊)
3	10/31(火)	ロンドン市内:日本大使館、帝国戦争博物館等訪問 対話イベント準備 (ロンドン泊)
4	11/1(水)	対話イベント(ロンドン大学学生等が参加) (オックスフォードハウス Oxford House: Derbyshire St, Bethnal Green, London E2 6HG) (ロンドン泊)
5	11/2(木)	ロンドン発→パリ着 パリ市内:日本大使館訪問、対話イベント準備 (パリ泊)
6	11/3(金)	対話イベント(パリ・シテ大学学生等が参加) (パリ国際大学都市日本館大サロン Cité Internationale Universitaire de Paris: 7 C Av. Rockefeller, 75014 Paris) (パリ泊)
7	11/4(土)	パリ発→
8	11/5(日)	→羽田空港→広島空港着

# 米加コース 概要

	日程	予定
1	11/12(日)	広島空港発→羽田空港→サンフランシスコ着→モンレーへ移動、対話イベント準備 (モンレー泊)
2	11/13(月)	対話イベント(ミドルベリー国際大学院モンレー校学生が参加) (ミドルベリー国際大学院モンレー校 Middlebury Institute of International Studies: 460 Pierce Street Monterey, CA 93940) (モンレー泊)
3	11/14(火)	スタンフォード大学訪問、シリコンバレー企業視察等 (サンフランシスコ泊)
4	11/15(水)	サンフランシスコ発→バンクーバー着、対話イベント準備 (バンクーバー泊)
5	11/16(木)	対話イベント(現地ユースとの対話型ワークショップ) (ブリティッシュコロンビア大学 Room 120,C.K. Choi Building, University of British Columbia) (バンクーバー泊)
6	11/17(金)	バンクーバー市内:バンクーバー博物館、日系文化センター・博物館 訪問 (バンクーバー泊)
7	11/18(土)	バンクーバー発→
8	11/19(日)	→羽田空港→広島空港着